

# 令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 都立小金井北高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、経営企画室長 事務担当 計4名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、保健主任、総務主任  
計8名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
学識経験者(東京学芸大学教授・法政大学教授)2名、PTA会長、同窓会会長、近隣中学校長、地域住民代表（小金井市小中学校PTA連合会副会長）、関係機関等（小金井警察署・小金井市教育委員会・小金井市生涯福祉センター）3名 計9名

## 2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和5年6月8日（木曜）内部委員8名、協議委員5名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出  
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題  
本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和5年10月12日（木曜）内部委員8名、協議委員6名  
授業公開、これまでの教育活動に関する報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
  - 第3回 令和6年2月15日（曜）内部委員8名、協議委員4名  
授業公開、これまでの教育活動に関する報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和5年6月8日（曜）内部委員3名、協議委員2名  
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討
  - 第2回 令和5年10月12日（木曜）内部委員3名、協議委員2名  
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
  - 第3回 令和6年2月15日（木曜）内部委員3名、協議委員2名  
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
学校経営計画の達成状況を学校運営、学習指導、特別活動、生活指導、進路指導、保健指導等の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 

・11～12月	全校生徒	対象：716人	回収：585人	回収率：81%
・11～12月	保護者全員	対象：720人	回収：414人	回収率：58%
・11～12月	教職員	対象：39人	回収：38人	回収率：97%
- (3) 主な評価項目
  - ①学校運営 入学満足度、学校生活の充実度、目標意識をもった生活、能力伸長の教育実践、適切な情報発信、施設設備の整備、働き方改革の取組（教員及び一部の保護者対象）、評価できる教育活動（複数回答）
  - ②学習指導 授業満足度、評価できる学習指導（複数回答）
  - ③特別活動 人間性の育成、部活動満足度、学習と部活動の両立、評価できる学校行事（複数回答）、評価できる部活動（複数回答）
  - ④生活指導 マナー・ルールの遵守、いじめに対する取組、体罰・暴言のない指導、安全指導・防災教育、適切な生徒指導

- ⑤進路指導 第一志望の支援、進路情報の提供、評価できる進路指導（複数回答）
- ⑥保健指導 教育相談の環境整備、健康管理指導、衛生・清掃状況、清掃が行き届いていない場所（複数回答）

(4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

- ・学校評価の結果が、思ったよりも厳しい。入試の倍率が昨年度よりも大きく上がっているため、先生方の日頃の努力が想像される。
- ・生徒はおおむね授業に満足しているようだが、授業評価アンケートと学校評価アンケートの数値に開きがある。原因が何か分析して欲しい。
- ・コロナ禍があげて、学校行事ができるようになり、学校生活全般の満足度も高くなっている。
- ・保護者は学校からの情報提供に満足している。これからも情報提供を積極的に行って欲しい。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

- ・毎回大変多くの資料を提示してもらい、素晴らしい自己分析ができています。進路を含め十分な成果も挙がっているように思われる。
- ・生徒の満足度の高さは十分に評価に値する。
- ・入選の倍率の上昇からも、PR 活動に支障のあった感染症下の時期よりも小金井北高校の内容が理解しやすかったと考える。生徒は意欲をもって入学している。次年度以降は、更に中学生の学校選びの観点からも、土曜日の授業公開実施について工夫をしてもらいたい。
- ・生徒支援の点からも教育相談会は、ぜひ継続実施してもらいたい。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学識者（大学教授）、地域住民、近隣中学校等の外部の方々から、それぞれの立場からの本校へのニーズを知ることができた。大学は、やはり社会人としての知性や教養ある人物の育成、地域住民からは地域の役割を担う社会人の育成、近隣中学校からは中学生の希望する学校であって欲しいとの要望を直に知ることができたことは大きな成果である。
- ・学校で行っている日々の取組について、外部委員を通して広くご報告できた。
- ・関係機関等（警察、小金井市教育委員会）からも、学校の取組や生徒対応について助言をいただくことができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・募集対策において、土曜日の授業公開・学校説明会等には工夫が必要。特に、中学校からは様々な授業を見せてもらいたいという要望が強い。時間割通りにやると、いつも同じ内容になってしまうので、可能な範囲で特別時間割を組む、時間割の変更を行うなどの対応が必要になる。
- ・不登校の生徒への対応。中学校や大学でも不登校生徒・学生の対応についての課題はある。SC や養護教諭、担任にも大きな負担がかかる。誰か一部に負担のかからないように学校で組織的に取り組む必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・学校評価や授業評価アンケート等を活用し、的確に課題を把握するとともに、学校経営の一層の改善を推進する。
- ・アンケートの実施方法や実施時期など工夫し、保護者の回収率を高めていく。
- ・学校の組織体制の見直しや各種会議の時間短縮を図り、教職員の在校時間を縮減する。また、看護休暇・短期介護休暇、育児休暇の取得等の利用を推奨、業務の見直し等、働き方改革を推進する。

(2) 学習指導

- ・生徒による授業評価アンケートを活用する他、相互授業参観や校内研修を通して、組織的に授業改善に取り組み、学校全体の授業満足度を高めていく。また、指名制の授業見学や模範授業への参加を促進し、その成果を各教科で共有させる。
- ・新学習指導要領の確実な実施に向けて、指導と評価の一体化を目指すとともに、カリキュラム・マネジメントを推進する。また、定期考査の共通化を定着させる。さらに教科主任会を活用し、教科横断的な取組を推進する。
- ・課題（宿題）の成果と課題を検証し、精選された必須の課題や個々の生徒の状況に応じた選択的課題等、個別最適化された課題の付与にも取り組む。

- ・一人一台端末など PC を効果的に活用する。
- (3) 特別活動
- ・各学校行事や実施内容の充実を図る。生徒の主体的な企画・運営を支援する。
  - ・東京学芸大学との高大連携事業において、講演やワークショップの在り方について一層改善を図る。
  - ・海外学校間交流事業では、オンラインの交流を定期的実施しつつ、次年度は提携校のウヌーナ・ハイスクールの生徒を迎える準備を行い、充実した内容で実施できるようにする。また、事前・事後の指導を適切に行い、令和7年度に本校生徒がオーストラリアに渡航する準備を行う。
- (4) 生活指導
- ・入学後すぐに、自転車の乗車時のマナー・ヘルメットの着用・保険加入の指導ができるように、生徒保健部を中心に指導体制を整える。
  - ・保護者会等を通じて、策定した「学校いじめ防止対策」の周知に努める。校内研修を適切に実施し、体罰や暴言等、不適切な指導のない学校づくりに学校全体で取り組む。
  - ・計画的に保護者との面談を設定し、確実に周知を行い、実施する。
  - ・一人一人が自分の目標を設定して取り組むことができるよう指導する。
- (5) 進路指導
- ・保護者会等を通じて「SNS 家庭ルール」の策定を推奨する。また、部活動・行事準備期間の校内ルールを遵守し、学習と部活動との両立を図る。
  - ・外部試験模試を分析し、それに適応した学習計画を立案するとともに、適切な振り返りに取り組ませる。また、安易に受験科目を減らさせない支援・指導を行う。大学入学共通テスト後に、志望校検討会を実施し、個別指導につなげる。
  - ・教科主任会を計画的に実施し、組織的な PDCA サイクルを確立する。
  - ・「総合的な探究の時間」の運営体制を整備する。また、探究の成果を総合型選抜等の受験に活用できるように生徒を支援する。
- (6) 健康・安全
- ・全員面接を1学期中に終了させる。また、教育相談会により生徒情報を共有し、不登校や不適応生徒に丁寧に対応する。
  - ・校内美化の取組について、清掃分担の見直しを図る等、美化活動を徹底する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	2					2

8 その他

- ・協議委員で1回も参加できない方もいた。次年度は開催時期や方法等についても工夫を行う。